年間授業計画　様式例

荒川工科 高等学校 令和５年度（１学年用）　教科　保健体育　　科目　保健

教　科：　保健体育　　科　目：　保健　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　E　組

使用教科書：（　　）

教科　保健体育　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】身に付けた知識を実践できる能力をつける。

【思考力、判断力、表現力等】単に何かを覚えるのではなく、自分の生活に活かせる力を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】基本的生活習慣を確立できる態度を養う。

科目　保健　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
幅広い知識を習得し、自分の生活や実社会に活用できる力をつける。	課題を理解しコミュニケーションを取りながら、意思決定・行動選択ができるようにする。	受け身ではなく、授業に積極的に参加する態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	（1）健康の考え方が変化していることを説明できる。健康を成り立たせている要因をあげることができる。	（1）健康の考え方と成り立ち 必要に応じてICT機器・プロジェクターの活用	【知識・技能】 小テスト・テスト 【思考・判断・表現】 グループワーク・コミュニケーション観察。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題への取り組み方・授業への積極性	○	○	○	1
	（1）わが国の健康水準の変化とその背景を説明できる。わが国の現在の健康問題をあげることができる。 （2）健康に関する意志決定・行動選択の重要性を説明できる。ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴を説明できる。	（1）私たちの健康のすがた （2）健康に関する意志決定・行動選択と環境づくり 必要に応じてICT機器・ プロジェクターの活用	【知識・技能】 小テスト・テスト 【思考・判断・表現】 グループワーク・コミュニケーション観察。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題への取り組み方・授業への積極性	○	○	○	2
	定期考査						
	（1）生活習慣病の例をあげることができ，なぜ生活習慣病と呼ばれるのかについて説明できる。 （2）健康にとっての食事の意味について説明できる。健康的な食事のポイントをあげることができる。	（1）生活習慣病とその予防 （2）食事と健康 必要に応じてICT機器・プロジェクターの活用	【知識・技能】 小テスト・テスト 【思考・判断・表現】 グループワーク・コミュニケーション観察。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題への取り組み方・授業への積極性	○	○	○	3
	（1）運動が健康に及ぼす影響と健康によい運動のおこない方について説明できる。 （2）喫煙者やその周囲の人に起こる害を説明できる。日本や世界における喫煙対策の例をあげることができる。	（1）運動・休養と健康 （2）喫煙と健康 必要に応じてICT機器・プロジェクターの活用	【知識・技能】 小テスト・テスト 【思考・判断・表現】 グループワーク・コミュニケーション観察。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題への取り組み方・授業への積極性	○	○	○	3
	定期考査						
2学期	（1）飲酒による健康への短期的影響，長期的影響を説明できる。 （2）薬物乱用が心身の健康や社会への影響について説明できる。 （3）新たな感染症の問題に関して例をあげて説明できる。 （4）性感染症とは何かを説明できる。	（1）飲酒と健康 （2）薬物乱用と健康 （3）感染症とその予防 （4）性感染症・エイズとその予防 必要に応じてICT機器・プロジェクターの活用	【知識・技能】 小テスト・テスト 【思考・判断・表現】 グループワーク・コミュニケーション観察。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題への取り組み方・授業への積極性	○	○	○	9
	（1）人間の欲求の種類を説明できる。 （2）心と体の働きが相互に影響しあう関係について例をあげて説明できる。 （3）心と体の働きが相互に影響しあう関係について例をあげて説明できる。	（1）欲求と適応機制 （2）心身の相関とストレス （3）心の健康のために 必要に応じてICT機器・プロジェクターの活用	【知識・技能】 小テスト・テスト 【思考・判断・表現】 グループワーク・コミュニケーション観察。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題への取り組み方・授業への積極性	○	○	○	8
3学期	（1）若者の交通事故の特徴を説明できる。交通事故の発生に関係する要因を，例をあげて説明できる。 （2）運転者に必要な資質と責任を説明できる。安全な交通社会づくりのための対策を，例をあげて説明できる。	（1）交通事故の現状と要因 （2）交通事故を防ぐために 必要に応じてICT機器・プロジェクターの活用	【知識・技能】 小テスト・テスト 【思考・判断・表現】 グループワーク・コミュニケーション観察。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題への取り組み方・授業への積極性	○	○	○	4
	（1）適切な応急手当の意義を説明できる。傷病者を発見したときに，確認・観察するポイントをあげることができる。 （2）日常的なけがの応急手当の手順や方法を説明できる。熱中症の応急手当の手順や方法を説明できる。	（1）応急手当の意義とその基本 （2）日常的な応急手当 必要に応じてICT機器・プロジェクターの活用	【知識・技能】 小テスト・テスト 【思考・判断・表現】 グループワーク・コミュニケーション観察。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題への取り組み方・授業への積極性	○	○	○	2 合計 32